

# Informix Video Foundation DataBlade モジュール

ビデオデータは至る所に存在します。インターネットのウェブサイトや企業内イントラネットを利用した社員教育から、映画などで使用される3Dテクノロジーまで、さまざまなところでビデオデータは使用されています。ビデオデータには使用者ごとにそれぞれ固有のニーズがあり、さらに急速に変化し続けるテクノロジーや市場に対応するために、データの配置、検索、および管理などの機能をオープンなアーキテクチャ上で共有することが望まれています。また、ビデオデータは、単に録画して再生するだけでなく、ウェブサイト、テレビ、出版物など、さまざまな形で最大限に利用することができます。

Informix® Video Foundation DataBlade® モジュールは、ビデオデータの管理方法に革命をもたらしました。そのバックボーンとなるテクノロジーは、サードパーティーのビデオサーバー、外部コントロールデバイス、圧縮コーデック、カタログングツールなどの最新ビデオデータテクノロジーを、Informix® Dynamic Server™ に容易に組み込めるようサポートします。さらに、MITメディアラボが開発されたビデオデータのデータタイプとデータモデルは、ビデオやメタデータの管理を容易にしました。このテクノロジーの登場により、ビデオデータを再加工し、さまざまな用途に沿って再利用することが大変簡単に行えるようになります。

## 機能と利点

Informix Video Foundation DataBlade モジュールは、インフォミックスデータベースサーバの機能を拡張し、ビデオのコンテンツおよびメタデータの管理を容易にします。Video Foundation DataBlade モジュールを使用すれば、ビデオデータのメタデータの要素がデータベースに格納され、実際のビデオデータはハードディスク、ビデオテープ、ビデオサーバー、またはその他の外部記憶装置で管理



できます。また、アナログビデオのアドレッシング機能も搭載しており、コンテンツの大部分がデジタル化されていない場合でも、効率的なビデオデータの管理が行えます。

## オープンで拡張性に優れたテクノロジー

Informix Video Foundation DataBlade モジュールには、インフォミックスのデータベースサーバをユーザのビデオサーバーにリンクする仮想記憶インタフェース (Virtual Storage Interface: VSI) が含まれています。多数のビデオサーバーベンダーに支持されているこの機能は、ビデオサーバー上でのデータの格納および再生など、単純な機能をサポートするだけではありません。ビデオサーバー内にあるビデオデータの要素は安全に管理され、それらの整合性はデータベースに格納されたデータの場合と同様に保証されます。ミドルウェアを通さずにデータベースサーバとダイナミックに対話することによって、Informix Video Foundation DataBlade モジュールは、最適化されたパフォーマンスを提供し、ユーザのデータ、ビデオデータおよびメタデータの集中管理を実現します。これによってオーバーヘッドが削減され、エラーがなくな

り、継続的に発生するアプリケーションのメンテナンスを最小化することができます。

## More than "Pick and Play"

ユーザは簡単な操作により、従来のビデオカセットの場合と同様に、簡単にビデオクリップの選択と再生が可能となります。しかし、Informix Video Foundation DataBlade モジュールでは、さらに高度な利用方法を可能にします。例えば、ビデオデータの中から、「ディレクターの視点」、「教師の視点」、または「消費者の視点」といったクエリーを作成し、「ビュー」を抽出することも容易にできます。インターネットとそのインタラクティブな可能性に備えて、Informix Video Foundation DataBlade モジュールは、データベースをカスタマイズするのと同じ要領で、一見すると全く新しいように思われるビデオ画像を作成します。ビデオデータをカスタマイズしても、データの全体もしくはある特定の部分的知的所有権保護についての心配も不要になります。

## 再利用、再配置、再目的化が可能

ビデオデータは、様々なフォーマットで保存されています。現在よく用いられて

いるものにはD-1テープ、Bata-SP、MPEG-1、MPEG-2およびQuickTimeなどが存在しますが、テクノロジーの変遷とともに今後新しいデータタイプが開発されることも十分考えられます。ビデオデータを編集・利用する場合、これらの複数のフォーマットを扱わなければならない、これは大変負荷の高い作業となります。Informix Video Foundation DataBladeモジュールは、特定のフォーマットに依存しない、非常にフレキシブルなテクノロジーです。DataBladeモジュールは、全てのデータフォーマットで作成されたメタデータを再利用可能とし、既存のビデオデータをシンプルかつ正確に、使用者の利用目的に合わせた形式に変換します。ユーザーはデータフォーマットに関する煩雑な作業から開放され、クリエイティビティを必要とする作業に集中することができます。

利用目的に合ったデータ変換と高度なアプリケーションをサポートするため、ビデオメタデータはレイヤー（階層）に付加されます。このプロセスは、MITメディアラボが開発したテクノロジーを応用したもので、「ビデオの階層化」と呼ばれています。階層化を実行することで、ビデオデータの内容に関する新規情報（メタデータ）を、アプリケーションを変更することなく、またビデオのデータフォーマットに関わらず、いつでも追加することが可能となります。新規情報がワークフロー中で作成されるか、またはさらなる情報が利用可能になる場合、Informix Video Foundation DataBladeを使用してデータベースに追加できます。アプリケーションは既存のクエリーが実行されている間も、新規に追加された情報を検索することができます。

#### パートナーシップ

インフォミックスは、Informix Dynamic Server、Universal Data Option™、およびDataBladeテクノロジーを組み合わせることにより、ビデオのようなリッチメディアデータを含むあらゆるデータの統合管理をサポートします。インフォミックスは、SGI、Sun、IBM、Starlight、EMC、Avid、VXtreme、Vivo、Excalibur、Virageといった、業界屈指のベンダーとパートナーシップを結んでいます。急速に発展しているビデオ業界をリードするため、インフォミックスは新しいビデオデータに関するテクノロジーをもつベンダーと今後もパートナーシップを強化します。インフォミックスでは、より多くのベンダーがDataBladeモジュールを開発し、共に「DataBladeシナジー」として動作する、

トータルソリューションが実現できる環境をつくるのが重要であると認識しています。音声認識、イメージ検索、テキスト探索、ビデオ画面検出など、多数のDataBladeモジュールを組み合わせることにより、完全なビデオデータ管理におけるソリューションが実現されます。

#### Video Foundation DataBladeモジュールの特徴

- オープン、安全、かつスケーラブルなアーキテクチャ
- ミドルウェアを介さず、最適化されたパフォーマンスを実現
- 「録画して再生」を超える機能を実現
- ビデオデータの再利用、再分散、再編集における最新テクノロジー

#### 実用例

##### ビデオ製作のサイト

インフォミックスとパートナー企業のテクノロジーは、ビデオ製作の現場において非常に優れたパフォーマンスを発揮します。たとえば、ビデオプロデューサーが、ビデオシーケンスの一部を検索して読み込み、高品質な編集システムにエクスポートする場合、ビデオデータは、標準のイントラネットでの伝送に適した、低ビットレートの形で格納されます。この結果、ストレージの容量は最小化され、高価なネットワーク機器の必要性がなくなります。クエリーを発行する際、ユーザーはビデオデータのサブセットを選択することができます。Netscapeなどの標準的なブラウザを使ってレビューすることができます。ビデオデータの一部にはタグが付加され、この部分は、D-1などのビデオテープで参照可能となり、編集システムへインポートする際にはデジタル化されたリストとして使用されます。編集作業中に生成された「名前」や「アクション」などの情報は、データベース内に「メタデータ」として格納され、再利用可能となります。

##### テレビのニュースルーム

もう一例は、テレビのニュースのWebサイトです。わずか20秒のビデオクリップしか利用できない現在のWebアプリケーションとは異なり、インフォミックスのテクノロジーは、Webサイトの視聴者が、それぞれのニーズや関心に応じてダイナミックに編集された、「テラーメードの」ビデオデータにアクセスすることを可能にします。メタデータ、キャプション情報、その他のあらゆる情報を用いてWebサイトの視聴者のニーズに合わせた

ビデオのビューがデータベースで作成されます。Webサイトの視聴者がこのトピックについてより詳細な情報を要求する場合は、同じビデオの新規ビューがダイナミックに作成されます。このカスタマイズされたコンテンツは、Web上でのダイナミックなビデオ広告およびブロードキャストを可能とします。これらのテクノロジーは、ビデオクリップを受動的に見せるだけでなく、Web閲覧者に対してのインタラクティブかつ戦略的なアプローチを実現します。インフォミックスではこのダイナミックなアプローチを「customer intimacy（顧客への密着）」と呼び、インターネット上での電子商取引のアプリケーションにも容易に拡張可能です。Informix Video Foundation DataBladeモジュールは、ビデオを含む既存および今後開発されるデータベースアプリケーションに対して理想的なソリューションを提供します。また、Informix Dynamic ServerおよびUniversal Data Optionはこのテクノロジーを生かす最高のプラットフォームです。DataBladeテクノロジーをはじめとするインフォミックス製品およびサービスのより詳細な情報については、最寄りの営業所へご連絡ください。

#### INFORMIXの海外営業所

・ アジア/太平洋地域	65 298 1716
・ カナダ(トロント)	1 416 730 9009
・ ヨーロッパ/中東/アフリカ	44 181 818 1000
・ 米国	1 703 847 2900
・ 南米	1 305 265 7545
・ 北米	1 800 331 1763
	1 650 926 6300

## Informix インフォミックス株式会社

〒107-6023 東京都港区赤坂1-12-32  
アーク森ビル23F

Tel: 03-5562-4500 Fax: 03-5562-4505  
(http://www.informix.com/jp)

©1997. Informix Software, Inc.

Informix®, Informix logo®, DataBlade®およびDynamic Scalable Architecture™は“®”で示されているように米国および世界中の多くの国々で登録されているInformix Software, Inc., Informix Corporationあるいはその関連会社の商標です。他の名称または記号はすべて、各所有者の登録商標または商標です。